

18 不測時に備えた食料供給体制の構築

【令和7年度予算概算要求額 363（63）百万円】

＜対策のポイント＞

総合的な備蓄の推進に向けた食料供給困難事態対策法に基づく特定食料・特定資材の民間在庫の実態等に関する調査、不測時における食料供給シミュレーションモデルの構築、世界の食料需給動向等の総合調査・分析を実施します。

＜政策目標＞

不測時に備えた食料の安定的な供給の確保

＜事業の内容＞

1. 食料供給困難事態対策事業 256（一）百万円

① 総合的な備蓄体制の推進に向けた民間在庫調査事業

不測の事態において、備蓄を効果的・効率的に活用していくため、国内に存在する備蓄をトータルで把握し、官民合わせた総合的な備蓄体制を推進します。これに向け、食料供給困難事態対策法に基づく特定食料・特定資材※について、サプライチェーンの各段階における民間在庫の実態等に関する調査を行うとともに、これらを定期的に把握するための、デジタル技術も活用したより効率的な調査手法を検討します。

※特定食料：コメ・小麦・植物油原料等、特定資材：肥料・農薬等を想定

② 不測時における食料供給シミュレーションモデル構築

不測の事態を想定し、必要な対策を検討するため、諸外国の事例を参考とし、国内の農地や労働力をはじめとする生産基盤の確保状況、品目ごとの輸出入量、食料等の備蓄状況、世界の需給動向を考慮し、供給熱量や栄養バランスを最適化する我が国の食料供給シミュレーションモデルを構築します。

＜事業イメージ＞

1. 食料供給困難事態対策事業

① 総合的な備蓄体制の推進に向けた民間在庫調査事業

品目毎の在庫状況や保管場所、流通経路等の把握
効率的な調査手法の検討

(サプライチェーンと在庫のイメージ)

国内生産者 → 卸売業者 → 食品製造業者 → 卸売業者 → 小売業者
輸入業者 → 流通在庫 → (原料在庫) (製品在庫) (流通在庫) (商品在庫)

サプライチェーンの各段階において、多様な形態での在庫が存在し、その実態は品目毎に異なる。

① 民間業者への聞き取り等 ② 定期的な調査のためのより効率的な手法の検討

② 不測時における食料供給シミュレーションモデル構築・運用

我が国の食料供給能力を予測・分析するモデルを構築

品目の輸入が減少するデータを入力
(モデル)

在庫調査により把握した品目ごとの備蓄量データを入力

シミュレーション後のカロリー構成例
【000kcal/人・日】

大豆 小麦 野菜 コメ

不測の事態を想定したシミュレーションを実施
○栄養素等を考慮した供給カロリー構成を算出
○カロリー構成に対応した作付面積構成を算出
○これらを踏まえた経済的な損失を算出

農地面積〇〇〇万ha

2. 世界食料需給動向等総合調査・分析事業 107（63）百万円

食料の供給不足となる兆候を適切に察知するため、現地コンサルタント等を活用し、穀物等の生育状況や需給・貿易動向等の情報の収集・分析を行います。

(関連事業)

農業気象情報衛星モニタリングシステム (デジタル庁計上) 15（15）百万円

＜事業の流れ＞

国 → 委託 → 民間企業等 (1の事業)

国 → 請負 → 民間企業等 (2の事業)

2. 世界食料需給動向等総合調査・分析事業

① 海外の食料需給情報の収集・把握

国際機関 → 農家等 → 現地調査

② 収集した情報に基づき食料需給動向を分析・予測

農業気象情報衛星モニタリングシステム → 現地圃場の作物

③ 海外からの安定的な原料調達を目的に情報発信

食料安全確保月報 (第35号)

【お問い合わせ先】 大臣官房政策課食料安全保障室 (03-6744-2395)